



土石流
ドロマ

地すべり
スベリユース

かけ崩れ
イシドラ

我々には
土砂災害の恐さを伝える
使命があるのだ!!

ついに出了た!! 土砂災害3人衆

プロだから演技力が違う! 伝わる!

注目度↑ **楽しさ↑** **記憶に残す↑**

土砂災害防止啓発活動にキャラクターを登場させてみませんか?

土砂災害防止広報センターが企画した、土砂災害『キャラ化』プロジェクト。学生さんたちの協力を得て完成した土砂災害三人衆キャラクターを立体化。(株)越知企画の人気のキャラクターショーとコラボが実現し、土砂災害についての啓発活動が舞台上で始動しました。土砂災害防止啓発活動を、プロによる台本・演出・演技のパッケージでお届けします。

なぜ土砂災害を「キャラ化」したのか

◎日本では毎年のようにどこかで土砂災害が発生しています。近年は土砂災害という言葉がニュースなどで耳にすることも多くなりました。それでも、「土砂災害ってどんなもの？」と訊かれて、正確に答えられる人は多くないでしょう。

わたしたち土砂災害防止広報センター（以下〈SPC〉）は設立当初から「土砂災害についての正しい知識を人々に伝える」ことを業務の一つの柱としてきました。それは、災害から人々の命や暮らしを守るためには、その災害について正しく知り、正しく備えることが大切である、と考えているからです。

◎災害や防災について知らせるパンフレットや映像など、いわゆる「防災啓発資材」は、SPCに限らず、いろいろな機関が制作しています。子供にもわかるようにイラストや漫画を使った資材も少なくありません。しかし当然のことながら、**災害は常に何らかの被害や犠牲者を伴うものである以上、明るく楽しい性格のものではありません。**特に土砂災害の場合、防災啓発資材では破壊力の大きさや被害の悲惨さを強調することが多く、土砂の茶色や崩れた岩の灰色など、視覚的にも暗いものになりがちです。

こうしたイメージは誤りではありませんが、過度にそればかり強調されると、人々に「もう見たくない・知りたくない・関わりたくない」という印象を与えてしまい、むしろ**災害の現実から目をそらしてしまう**という、防災啓発とは真逆の結果を招きかねません。

◎防災啓発の第一歩は、まず災害の存在を知ってもらい、興味を持ってもらうことにあります。であれば「恐ろしい・悲しい」だけでなく、「怖いけれど興味がわく・もっと知りたい」と**関心を抱かせるようなアピールの仕方もあってよいのではないではないか**、場合によっては「面白さ・おかしさ」を感じさせる要素も必要ではないか…。その手始めに、だれもが土砂災害に興味を持てるような、**今までにないキャラクターをつくってみよう**と考えたのです。



土砂災害「キャラ化」プロジェクト始動



今回、このミッションにチャレンジしたのは、東京コミュニケーション専門学校（以下〈専門学校〉）のイラストレーションやコミックなどを学ぶおよそ200名の学生たち。

プロジェクトの内容をより深く理解するためレクチャーの時間を設けた。「土砂災害とはなにか、どこで、どんな仕組みで発生するか」参加した学生たちは熱心に耳を傾け、レクチャー終了後にはもっと詳しく知りたいと、何人もが個別に質問にやってきた。

審査を経て上位3作品（著作権譲渡契約）と入賞4作品を決定。この中から以下の3キャラクターを啓発活動に使用することとした。



キャラクター実用化に向けた取り組み

◎完成したキャラクターはキャラクターショーのプロ集団、(株)越知企画の全面的な協力のもと、台本から演出、演技までの全てを舞台で行うオリジナルショーに仕立てました。既に人気のキャラクター**鐵華MEN**(テッカメン)と**極FILLES**(キワフィーユ)のコラボレーションも実現し、土砂災害防止啓発活動の一貫として有意義な内容を提供できることとなりました。



防災啓発ステージショー



プロモーションビデオ



鐵華MEN(テッカメン)



極FILLES(キワフィーユ)

もっと効果的な土砂災害防止啓発活動をお探しのご担当者様、あらゆるご相談に応じます!!

舞台テーマ	特別演出	料金
「私たちは土砂災害では死なない」等	防災かるたゲーム 他	要見積

※オリジナル台本、実施場所、実演時間など詳細につきましてはご相談承ります。



土砂災害キャラ プロジェクトのチャレンジは続く…



お問合せ先 <http://www.sabopc.or.jp/>

特定非営利活動法人 土砂災害防止広報センター

〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲4番11号 TEL 03-5614-1114